



大城 勝 議員

高齢者の健康づくり に対する思いは

答 やーぐまいしないで外に出ようとするのが大事

問 町社会福祉協議会が行う高齢者健康づくり推進事業をどのように認識しているか。

副町長 この事業は、利用者も多く高齢者からは好評と聞いている。高齢者の健康づくり、介護予防に寄与していると認識している。

問 町長の高齢者の健康づくりに対する思いはどうか。

町長 家籠り（やーぐまい）しないで外に出ようとするのが大事である。皆が笑顔でふれあい交流することが健康づくりにつながる。

高齢者社会への対応は

問 本町の高齢化社会への対応として福祉政策はどのように進めるか。

副町長 本町は他市町村と比較して高齢化率は低い。今後、高齢者が増加することを見据え、地域包括ケアの構築や介護予防の推進、認知症への理解など高齢者福祉の充実を図る。

巡回福祉バスの増便を

問 社協の巡回福祉バスの増便要望が住民の声としてあるが増便は可能か。

副町長 巡回福祉バスは、月水、金曜日に運行している。他の曜日は地域の団体等が借用し活用している。他の曜日に増便となると増車の必要がある。購入費用と人件費による財政負担が課題となるため今後検討する。

認定こども園設置に向け

問 保育園と幼稚園の機能を併せ持つ認定こども園への対応を問う。

民生部長 役場内にプロジェクトチームを設置し、こども課と学校教育課の課長及び担当者等で調査を進めている。これまで4回の会議を終え、本町の保育・教育について総合的な見地から検討している。

問 認定こども園設置に向け、

こども課と学校教育課の、部署の壁を取り払い、こども園課を新設できないか。

副町長 現時点では、こども課と学校教育課が連携して取り組んでいる。新たな課の設置は考えていない。

